

令和4年度 学校自己評価システムシート（秋草学園高等学校）

目指す学校像	「礼節」、「勤勉」、「協調」の精神を涵養し、「愛され信頼される女性」を育成する学校。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 挨拶の励行、道徳心の育成を通じ、建学の理念の具現化を図る。 学習の習慣化・授業の充実を通じ主体的な学びを身に付けさせ、進路希望の実現を図る。 生徒募集・広報活動に全員体制で取り組み、入学者を増やす。 教職員の意識改革・学校改革を推進し、よりよい秋草学園の創造を図る。
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学校関係者	4人
事務局（教職員）	4人

学校自己評価						
年度目標			令和4年度評価（3月31日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	1 挨拶は、本校の教育方針の一つである「礼節の心」の育成に関わるものであるが、日々の高校生活において更に定着させる必要がある。 2 時間を守る、清掃活動を通じて校内美化を徹底する、授業に集中する等により、「勤勉の精神」を更に高める。 3 日頃の各クラスでの活動、部活動、学校行事、生徒会行事を通じて、「協調」して行動することの大切さを身につけさせる。	1 様々な場面で心のこもった挨拶ができていないか。言葉だけでなく具現化できているか。 2 ①チャイムと共に授業が開始できているか。 ②校内の清掃がきちんと行われているか。 ③授業規律は守られているか。 3 各クラスで生徒が協力して日頃のホームルームの活動や行事に取り組んでいるか。	校長講話、担任の講話をはじめ日頃の教育活動で礼節・勤勉・協調の精神を常に念頭に置いた指導を行う。 1 ①毎朝、教職員や生徒が校門に立ち、心を込めた挨拶をする。 ②授業や集会などの始めと終わりにしっかりと挨拶をさせる。 ③伝統的な行事を通じて育成する。 2 ①校舎内巡回担当が確認する。 ②各ホームルームで清掃指導を徹底すると共に清掃箇所の監督教員がしっかりと指導する。 ③授業担当、担任が相互に意思疎通をはかり、早期解決を図る。 3 部活動、各行事の指導で常に組織を意識した指導を行う。	1 ①教職員自らが率先垂範で挨拶ができていないか。 ②教員が毎朝校門に立ち、生徒への挨拶指導が実施できたか。生徒の学校生活での挨拶が定着したか。 ③伝統的な行事を通じて建学の理念を学ぶ事ができたか。 2 HR・授業でのチャイム着席が徹底できているか。 3 各箇所での清掃に熱心に取り組んでいるか。廊下等にゴミが落ちていないか。	1 ①②教員が進んで挨拶をすることが概ねできている。大半の生徒は来校者や教職員に対して挨拶する習慣が確立されている。 ③伝統的な行事を通じ、礼節と感謝の気持ちを学ぶとともに、その他の行事において協調の精神を学ぶことができた。 2 概ねできている。 3 比較的熱心に清掃への取り組みがなされているが、ペットボトル等のゴミが溜まっている教室もある。絨毯の上など綿埃が溜まりやすいところがある。	B
2	1 基礎学力の定着が十分でない生徒が少なくない現状があり改善の必要がある。 2 新学習指導要領に基づく新教育課程の開始に伴い、授業研究、教材研究の充実が一層求められている。観点別評価の円滑な実施が求められている。 3 生徒の主体的な学びを促すためのAL型授業の推進と教材の検討・導入が必要である。	1 ベネッセの基礎力診断テスト、スタディサポート等の結果において基礎力が定着し学力が向上しているか。 2 生徒の実態に合った学習指導計画が立てられたか。各教科で授業研究・教材研究が進められたか。観点別評価が実施出来たか。 3 AL型授業の実践がなされているか。そのための研修、教材の準備がなされているか。	1 基礎力診断テストやスタディサポートの結果に基づいた教員の研修会を実施し、その後の指導に活用する。 2 ①生徒による授業評価を活用する。 ②研修会の実施により、教員の実践力を高める。 3 ①授業研究仲間、研修会等を通して授業力を向上させる。 ②ICTの活用をはかる。	1 ①過去のデータの推移比較の結果はどうか。 ②研修会は実施できたか。 2 ①生徒の授業評価の結果はどうだったか。 ③研修会は実施できたか。研修会をその後の教育活動の充実に活用できたか。観点別評価は円滑に進められたか。 3 ①生徒による授業評価や教員間の授業研究・教科会が活用できているか。 ②授業でのICTの活用が進んだか。	1 ①過去のデータとの比較を通じ、本校生徒の学力推移を確認することができた。 ②研修会も実施済みである。 2 ①生徒による授業評価アンケートを12月に実施し、各担当で自分のアンケート結果を確認した。 ②授業研究仲間を実施、観点別評価は各教科工夫を凝らしながら実施をした。 3 ①授業研究仲間にて実施し、報告書を提出した。 ②ICTの活用は進んでいる。情報センター室による電子黒板使用の研修会も実施した。	B
3	1 時機をとらえた中学校訪問・塾訪問を行うとともにホームページやSNS等を活用した効果的な学校紹介が求められている。 2 オープンスクール・学校説明会・入試相談会への参加者を増やし、本校の認知度を上げる必要がある。 3 進路実績を向上させて中学生・保護者及び中学校・塾関係者の期待と信頼を高め、生徒募集の増加を図る必要がある。	1 本校のホームページの閲覧回数が増えたか。 2 オープンスクールや学校説明会に参加する中学生が増えたか。 3 ①四大合格実績が向上したか、難関大学進学者が増加したか。 ②看護医療系の進学希望が実現したか	1 ①動画を有効に活用する等ホームページの工夫・改善をはかる。 ②生徒アンケートを活用する。 2 出前授業、上級学校訪問の積極的に受け入れ等により中学校との連携を強化する。 3 ①進路の手引の活用や進路ガイダンスの充実を図る。進学に向けた予備校講座、進学補講、スタディサプリ等の活用を推進する。各大学と密な連携を行う。 ③ セミナー、ガイダンス、講座等を充実させる。	1 ホームページの改善ができたか。閲覧回数は増えているか。 2 本校受験の出願者が単願200人、併願1,000人以上に、入学者が300人以上になったか。 3 ①国公立 3人、早慶上理3人、GMARCH 10人、成成国武明学12人、日東駒専18人の合格者が出せたか。 ②就職決定率100%を達成できたか。 ③看護医療系進学希望を100%実現できたか。	1 「学校紹介」ページの閲覧回数が前年度より54.2%増えた。 2 1学期から夏休みまでのイベントが核となり、出願が増えた。また単願誘導文書により再来校者も増え、単願数216人にまでつながった。 3 ①MARCH以上レベル志願者減により目標数達成に及ばなかった。 ②担当者の指導により順調に就職活動が行われた。 ③看護医療系進学希望者に対して面接対策、小論文対策、学科対策が行われ、希望通りの進先に合格した。	B
4	1 大学入試改革、新学習指導要領の実施に対応した教員の研修が必要である。 2 授業力向上、危機管理対応等の研修の充実が必要な状況である。 3 働き方改革に対応した業務の見直し、改善が喫緊の課題となっている。	1 校内外での研修に教員が参加しているか。研修の成果が教育活動に反映されているか。 2 学校運営や教育力を高めるための研修が実施されているか。必要な情報が共有されているか。 3 各分掌で業務の見直し、改善への取組が行われているか。教職員の在籍時間の縮減がはかられたか。	1 校内研修を実施すると共に校外の研修参加を奨励する。教職員一人一人が学校改革に向けて主体的に取り組む姿勢を醸成する。 2 情報共有を図ると共に、分掌・学年・個人からの学校改革についての意見を積極的に取り入れる。関係分掌を中心に研修会を実施する。 3 各分掌・学年で担当業務を見直し、不要なものを洗い出し改善を進め業務を効率的に行う。	1 ①大学入試改革、新学習指導要領への理解が進み、取組が円滑に進んでいるか。 ②部長や主任がそれぞれの関係する事案を把握しており、管理職と必要な連携がとれているか。 ③各教職員が、組織の一員として職務上の役割を主体的に果たしているか。 3 各分掌・学年での業務の見直し、不要業務の洗い出しが行われたか。教職員の在籍時間の縮減が行われたか。	1 ①令和7年度入試（2025年度入試）については、共通テストの「情報」対策が必要である。国公立文系受験者の科目負担増、入試の複雑化が懸念される。 ①新学習指導要領への理解が進み、教員主導による授業から考えさせる授業、発表等の取り組みなどが進んできた。 2 ①部長、科長、主任が事案について共通理解を概ね図ることができている。管理職との連携も図ることができている。 3 業務に関しては時間内での処理を心がけている。作業はすべて勤務時間内である。	B

学校関係者評価	
実施日	令和5年3月4日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 様々なところで先生方と生徒がコミュニケーションをとっている様子がうかがえる。生徒たちも朝、校門にてよく挨拶をしてくれる。それらの点より評価はAでも良いのではないかと。 生徒たちが卒業までたどりつけるよう、支援をお願いしたい。 転退学者がいるが、コロナ禍において生徒たちも頑張って学校生活を送っている。 1の項目を熱心に行くと、4の働き方改革を実行しにくくなる。負担過多にならないよう、教員間での連携を行ってほしい。 ICT技術面でもアップデートしていく必要があり、活用面でも大変な苦労があることが推察される。 電子黒板の使用により、授業展開が早くなるといった点があるが、生徒の学習理解を深めるために授業の進行速度について各先生方による工夫をお願いしたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒募集の結果は出ている。評価はAでも良い。 TikTokについて学校の明るい部分が表現されている。さらに、やや控えめな女子中学生も本校に関心が向くようなTikTokもあると良い（例えばお花や着物などを取り入れるなど）。 3年間の成果について大学入試結果のみならず、別の指標で示しても良い。 専門学校において将来の目的、目標を持つことのできない学生がいる。高校においてもそれらについてご指導もお願いできるとありがたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革について、担任の先生だけに負担がかからないように、副担任や学年主任、その他の先生といった形でフォローがされていくようにする必要がある。 	